



# Weekly Report

## 小諸浅間ロータリークラブ



- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 掛川 興太郎 ◆副 会 長 / 小池 平一郎
- ◆幹 事 / 矢島 栄一 ◆クラブ広報・情報委員長 / 中河 邦忠

2016~2017 年度

国際ロータリーのテーマ

NO. 1336 平成28年9月27日

◆点鐘	掛川興太郎 会長
◆SAA	渡辺 文夫 委員
◆ソング	手に手つないで
◆ゲスト	牧野 和人様

### 【会長挨拶】 掛川興太郎 会長

皆さん、こんにちは。

先週の台風16号は各地に豪雨と川の氾濫による冠水の被害をもたらし、東日本沖の太平洋に去りました。それにしましても、最近は、大きな自然災害が多いように感じます。最近のゲリラ豪雨を含む異常気象は、何が原因かなと思います。自然環境の何かが「極点」に達しているのだろうか。

これからの日本は、若い人を中心に人口が極端に減っていくと言われていています。私たちが暮らす小諸も例外ではありません。私どもが、今から60年前、小学生であった坂の上小学校の生徒は一クラス50名前後で4クラスありました。現在の一クラス30名前後で二クラス、60名前後が現在の生徒数です。一学年200名から三分一の60名に減っているわけです。小諸だけでなく、地方はどこも、同じような傾向にあるわけです。地方を活性化する、あるいは政府が掲げる「地方創生」に向けた取り組みには「働く場」が関わっていると思います。仕事があってこそ継続的な地域の魅力が生まれるのだと思います。その意味では、民間こそが主役だと思います。日本において、近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）の考え方が大切だと思います。そのような中で、地域の課題と事業の課題を解決しながら新しいビジネスを構築していかなければならないと思います。小諸の周辺には、豊富な森林資源や広大な耕作放棄地が存在します。あるいは、これを再生するためには新しいサプライチェーンを作り新しい価値を生み出す必要があるように思います。そのためには、生産だけを担

う従来型の農業や林業のやりかたではなく、地域外との連携が必要だと思います。

今日の卓話は牧野和人さんの「こもろの底力（そこじから）」という演題での講話です。「未来は作ることが出来る」というドラッカーの言葉をキーにしてお話を聞きたいと思います。

### 【幹事報告】 矢島 栄一 幹事

#### 1. 例会変更

上田RC	10月10日(月)	定刻受付なし
	10月17日(月)	定刻受付あり
	10月31日(月)	定刻受付あり

#### 2. 週報

上田六文銭RC

#### 【本日の配布物】

週報 1335号

### ◆出席報告 前田 博志 委員長

会員数22名	出席義務者21名	免除者1名
本日	出席 17名	
	事前 MU 3名	80.95%
前々回(9/13)	MU 1名	70.83%

### ◆ラッキー賞

NO 6 依田 晋一君

#### 次週のプログラム:

10月4日 「これからの株式指標」  
八十二証券(株)支店長 須藤 勇一氏

#### 次々週のプログラム:

10月11日 「米山月間」  
米山奨学生 任思暁様

工藤 泰一君	2年間お世話になり、有難うございました
小池平一郎君	先日、25日第29回小諸市民音楽祭が盛会裡に開催されました。牧野さん今日はようこそ。工藤さんご栄転おめでとうございます。

矢島 栄一君	牧野さん本日は宜しくお願い致します。工藤支店長2年間有難うございました。
依田 晋一君	牧野さんとはシニアでいつも一緒です。ラッキー賞、最近は多く頂いております。
前田 博志君	牧野さん、ありがとう。

【本日のプログラム】 「(一社)小諸フィルムコミッション」 牧野 和人 様



ただ今ご紹介いただきました牧野です。  
 日頃は私たちの活動に深いご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。  
 前田先生から「小諸城展」についての話をしてほしいとの依頼がありました。  
 小諸の各界を代表する皆さんの前で、また大先輩の皆さんがおいでの中でお話しさせていただく機会を与えていただき、誠にありがとうございます。  
 与えられました時間内に映像を交えてお話しさせていただきます。内容につきましてはお手元にお配りいたしましたレジュメにそって進めさせていただきます。

小諸城デジタルアーカイブプロジェクト

(長野大学企業情報学部協働)

プロジェクトの概要

1. 小諸市の歴史的文化財のデジタル記録
  - (1) 小諸城郭絵図(小諸市指定重要文化財)のデジタルアーカイブ
  - (2) 小諸城 3DCGによる復元
2. 文化財の保護と情報公開  
 地域の文化財は環境や社会情勢によって破損・劣化・滅失している。  
 地域に存在する価値ある文化財を広く伝える必要がある。
3. デジタルアーカイブ情報の活用  
 小諸城をCG化する事だけが目的ではなく、多くの人たちが解りやすい形で可視化して、文化的な資料として活用、地域振興資源や観光資源として活用する。
4. 魅力的なコンテンツの制作  
 学術的な調査や分析に活用できる高精度の文化財情報  
 一般市民が解りやすく理解でき、気楽に扱える観光用コンテンツの制作  
 子供達の歴史学習の教材、ゲームやアニメを活用した楽しみながら学べるコンテンツの制作

制作進行状況

- 2015年3月26日及び6月24日市立高原美術館で城郭絵図のデジタルアーカイブの実施
- 2015年4月27日 長野大学と受託研究契約の締結
- 2015年8月11日 小諸城内実地測量の実施
- 2016年3月22日 ドローンにより小諸城内空撮の実施
- 2016年8月9日 試作品を一般公開に先立ち小泉市長に報告
- 2016年9月10日より小諸高原美術館・白鳥映雪館で一般公開 小諸城展

映像の紹介

制作の基本となった①小諸城下の図、②小諸城本丸御殿絵図、③小諸城郭絵図  
 制作中の①3DCGによる城郭再現画像、②3DCGによる没入空間(動画)

若干時間を頂き、小諸フィルムコミッションの活動内容と今後の活動方針を説明させていただきます。  
 ロケ地紹介だけでなく、人物などを紹介し、ドラマの舞台が小諸となるよう活動を続けて参ります。  
 文化遺産など紹介し「小諸に誇りと元気を取り戻す」をモットーに微力ながら活動をして参ります。  
 28年度県地域発元気づくり支援金活用事業

最後になりましたが小諸浅間ロータリークラブさんのご発展と会員の皆様の益々のご活躍を御祈念申し上げます。  
 ご清聴ありがとうございました。